

2024年度デジタルハリウッド大学新入生研修 デジハリの推しラジができるまで

Producing Internet Radio Program by 300 Students:
Behind the Scenes How DHU Planned and Managed the Freshman's Seminar

田宮 よしみ TAMIYA Yoshimi

デジタルハリウッド大学 学部運営グループ マネージャー
Digital Hollywood University, Manager of Undergraduate Administration Office

デジタルハリウッド大学は、2024年度新入生研修を「デジハリの推しラジ」をテーマに秋葉原で実施した。2018年以降、「デジタルコミュニケーションを活用した地域振興に貢献する」、をテーマに地方都市を訪問し地域の課題解決に向けた提案を行う研修を実施してきたが、今年度はデジタルハリウッド大学が所在する東京・千代田区を舞台に音声コンテンツの制作、千代田区の緊急時避難情報とミュージアム情報を日本語と英語で紹介するCM制作に取り組んだ。本稿では、4月に実施した新入生研修の開催に至るまでの準備と運営、課題について報告する。

1. はじめに

デジタルハリウッド大学(以下、本学)では、2005年の開校より新入生向けの研修(以下、新入生研修)を実施してきた。

新入生研修は毎年4月に、その年のテーマを決めて実施している。実施前年の4月から約1年かけて準備している。前年4月に翌年の研修日程を決定し、研修候補地や外部会場の選定、研修テーマの設定、テーマに関係する講師のアサインなどを行っている。

2020年度からは、新入生研修を初年次教育の一環としてとらえ、科目名を「First Field」として1年次の必修科目とした。2024年度は「デジハリの推しラジ」をテーマに、インターネットラジオプログラム(以下、ラジオ)の制作に取り組んだ。

本稿では本学が実施した2024年度学部新入生研修(以下、本研修)について、開催に至るまでの準備と運営の裏側、今後の課題について述べる。

2. 企画の背景

本学は、構造改革特別区域法における学校教育法の特例のもとで千代田区に設置された株式会社立大学である。

開校以来、毎年4月に新入生向けの研修を実施しており、2017年度までは海外研修を実施してきたが、外国人留学生(以下、留学生)の増加に伴い、渡航にかかる査証取得の困難さや費用の問題から留学生の大半が不参加となる実情があった。入学直後に新入生を国内学生と留学生に分断する研修となっていたため、研修の枠組みを考え直し、全員が参加できる日本国内での研修に切り替え、2018年度より新入生向けの研修を「新入生研修合宿」と名付け、「デジタルコミュニケーションを活用して地域振興に貢献する」、を大きなテーマに掲げて地方都市を舞台に研修を実施するようになった。

2018年度は熊本県阿蘇地域、2019年度は鳥取県西部地域を舞台に研修を実施したが、2020年度から2022年度は新型コロナウイルス感染症の影響により集合型研修を取りやめ完全オンラインで研修を実施した。2023年度は4年ぶりに新入生研修合宿を再開し、「京都のSDGs・脱炭素をエンタメ化する旅」をテーマに京都でSDGs・脱炭素にまつわる活動をしているキーパーソンと会い、フィールドワークを行い、クリエイティブの力を生かした課題解決・価値提案を行うことを体験した^[1]。

2024年度の研修地域とテーマを検討する中、本学が所在する千代田区にどう貢献できるかが別の議題としてあがっていたため、開学

から20年目を迎える2024年度は、研修地域を千代田区に設定し、区と連携した課題に学生が取り組む研修を実施することにした。

3. 研修テーマの設定

地域の課題解決提案型の研修を企画するにあたり、誰の、どのような課題を、どのようなフォーマットで解決するのかを定めることが重要になる。千代田区役所の特区担当者が産学官連携も担当していた縁から、研修企画の相談なども円滑に進んだ。どのようなフォーマットで研修を実施するかについては、担当教員とブレインストーミングを繰り返す中で、音声だけで何かを表現するのは究極のコミュニケーションではないか、との話からインターネットラジオの制作に取り組むことになった。

当初は、以下のカテゴリでの番組制作を企画した。

- (1) ラジオドラマ
- (2) トーク番組
- (3) VTuberによる番組
- (4) ニュース番組・地域情報(千代田区の魅力・ニュース)
- (5) インタビュー番組(地域住民や商店、観光客)
- (6) ラジオCM(地域のお店を紹介)
- (7) 音楽番組(楽曲演奏と音楽紹介)
- (8) 外国人留学生による海外向けコンテンツの制作

ただ、ラジオ番組の制作に携わる本学卒業生からの助言や講師陣との打ち合わせを重ねる中で、短期間で実現するには情報収集から制作、編集までの時間が十分に取れないこと、すべての内容に千代田区を絡めるのは難しいこと、初対面の学生たちが楽曲を決め楽器を演奏し、録音した音楽をもとに番組に落とし込むのは難しいのではないかなど、などの意見もあり内容を修正していった。

千代田区に関するテーマについては、日本語と英語でラジオCMを制作することにした。千代田区役所の担当者より、インターネットラジオCMの聞き手は主に千代田区への来訪者(邦人・外国人)であるとの前提から、学生が取り組むお題として以下の3つが提案された。

- (1) 千代田区路上喫煙の禁止・喫煙マップの紹介
- (2) 千代田区災害時退避場所の紹介
- (3) 千代田区ミューズ&シアターマップの紹介

その中から、御茶ノ水に通学してくる本学の学生にも有益であろう災害時退避場所と千代田区ミューズ&シアターマップについて取り

4.4 講師陣と運営メンバー

本学教員を中心に講師を依頼した。講師1名が1グループを担当し、チームやグループの制作の指導や助言を行う形を取り、グループ担当教員9名と、担当を持たずに全体を監修する教員1名で編成した。

また、ラジオ制作を進める上で最低限必要な知識として教えたい内容をピックアップし、講師または卒業生から紹介を受けたプロを外部講師として招聘した。企画の立て方・デザインの基本・台本の作り方・CMの作り方・話し方について、その道の専門家による講義を実施することができた。

全体のファシリテーションは2019年度研修から本学の研修をサポートしてくれている株式会社フューチャーセッションズに依頼した。記録映像はフリーランスのビデオグラファーとして活躍する本学卒業生に依頼した。学生対応やお知らせの配信、備品管理、noteの番組紹介記事の公開設定、YouTubeへのデータアップロードは大学事務局（以下、事務局）スタッフが担当した。

2020年度研修以降、研修テーマに沿って一部講師の入れ替わりはあったが、ほぼ同じメンバーで実施してきた。研修の趣旨や進め方、設定したゴールまで学生をどう導いていくか、共通の理解のもとに研修企画をブラッシュアップし準備した。

4.5 ティーチングアシスタント (TA) の配置

サウンドスタジオノア秋葉原にTA1名を2日間配置し、予約時間ごとのチームの入れ替えのフォロー、録音のサポートを行った。また、音声編集TAとして在学学生1名をベルサール秋葉原に半日配置した。

最終的な提出フォーマットがMP4であったため、録音編集したMP3とサムネイルをあわせてMP4に変換するサポートとしてもう1名TAを配置した。

4.6 運営にかかるコミュニケーション

外部講師を除く講師と事務局のコミュニケーションは2024年3月末まではFacebookグループとFB Messengerを利用して行った。4月1日より連絡ツールをSlackに移動し、研修期間中はSlackの教職員専用チャンネルの利用に統一した。

9ヶ月に渡る打ち合わせは、すべてZoomを利用した。議題ごとにメンバーを変えて少人数での打ち合わせを行い、ある程度内容が詰まった後に全体ミーティングを行い、そこで出た課題をまた少人数で話し合い、全体ミーティングを再度行う、を繰り返した。

5. スケジュール

週末を含む6日間で実施した。週末はセミナーなど集合型研修を行わず、チーム別にSlackを使用してコミュニケーションを取りながら情報収集や台本制作を行う任意の活動の日とした。土曜日の活動量は少なく日曜日午後Slackチャンネルでのやり取りが活発化していた。週末も含め、チームのSlackでのやり取りはグループ（チーム）担当講師や運営メンバーでフォローしていった。6日間の様子については、プレスリリース^[3]で紹介している。同日同時帯にグループごとに行う作業や実施場所が異なる日があったため、学生に配布したスケジュールも細かくなった。

| 日 | 9:00-12:00 | 12:00-13:00 *チームにより時間が異なる場合があります | 13:00-16:30 *日・活動内容により時間が異なる場合があります |
|----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 4/8 (月) | 9:00-9:15 全体セミナー 9:15～ グループ(チーム)別ワーク 9:15-10:00 話し方講座 ①番組制作グループ ②CM制作グループ(9:10-11:30) ③Vtuberグループ 講座終了後、コンテンツ制作活動を進める 9:15～ 担当教員の指導のもと、制作を進める ④デザイングループ ⑤音楽グループ | 昼休み CM制作グループ: 11:30-12:20 | グループ(チーム)別ワーク ①番組制作グループ: ③Vtuberグループ: 台本制作・収録準備を進める。準備ができたチームから収録スタジオに移動し、収録 *スタジオは部屋により18:30まで使用可 ②CM制作グループ: 12:20:エフエムサウンズスタジオへ移動 13:00-16:00 収録レクチャー、収録 ④デザイングループ:午前の続き ⑤音楽グループ:午前の続き、収録など |
| 4/9 (火) | 9:00-9:15 全体セミナー 9:00 CM制作グループ:エフエムサウンズスタジオ集合、収録 9:15～ グループ(チーム)別ワーク ①番組制作グループ ③Vtuberグループ ④音楽グループ 担当教員の指導のもと、コンテンツ制作・収録・編集作業 ⑤デザイングループ:担当教員の指導のもと、制作を進める | *昼休憩は各グループ・チーム別に適宜とる | 午前の続き *スタジオは部屋により18:30まで使用可 |
| 4/10 (水) | 9:00-9:15 全体アナウンス 9:15-10:00 グループ(チーム)別に提出物の準備、確認 10:00-12:00 全体ワーク | 昼休み | コンテンツ紹介・講評・記念撮影など |

図6: 学生配布用スケジュール (抜粋)

6. 研修のまとめと課題

本研修では、ラジオコンテンツの企画・台本制作・収録・編集までを行い、完成した音声データをYouTubeにアップロード、並行して番組紹介の記事をnoteに投稿し公開することを目指した。1日目は友達作りのためのネットワーキングや研修のイントロダクションに時間をかけたため、企画から制作物の完成までは実質3日間の時間しか確保できなかった。完成できないチームも出るのではないかと危惧していたが、学生たちの制作は想定より早く進んだ。チームの中でそれぞれに役割があり、担当役割以外の時間は手持ち無沙汰になる学生も多く、手が空いた学生が取り組める課題の設定が必要であった。

また、1日目の午前にネットワーキングとして、事前課題として作成してきた偏愛マップをもとに学生同士が交流する機会を作り、午後から本研修のテーマ説明や必要な知識をインプットする講義の時間とした。入学直後の全体研修で、自分の好きなものについて語り合ったことで学生たちの気分が高揚し、セミナー中も落ち着かない雰囲気が残り、私語が目立った。結果、1日目に行うことの指示や課題の提出時間等に関する情報が全員に行き渡らず、1日目の提出物のファイル名や提出期限が守れないチームが3分の1程度あった。また、指示内容に関するPowerPoint(以下、PPT)も会場のスクリーンに投影するのみで当初はデータで配布しなかったため、後方の座席の学生には見えづらく、情報の伝達方法としては不十分であった。スクリーンのサイズや座席配置は変更できないため、2日目以降は確実に伝えたい情報はPPTから抜粋し、Slackで全体に流すことにした。

来年度以降の研修においては、1日目のネットワーキングを後半に持っていき、周知したい基本情報や講義は初日の午前を持っていくなど、プログラム構成を見直したい。また、確実に実行してほしい内容や指示については、PPTなど視覚化された情報として共有していきたい。オンライン上で画面共有しながら説明していった方が、情報伝達がより効果的な場合もあると感じられたため、来年度研修ではオンラインと対面を使い分けながらハイブリッドな研修を検討したい。

7. おわりに

本稿では、本研修の実施までの準備と運営、課題についてまとめた。旅行型研修、完全オンライン研修、集合型研修と異なる形態で新入生研修を運営する中で得た経験を生かし、今後の研修をブラッシュアップしていきたい。

参考文献

- [1] デジタルハリウッド：“<開催レポート>デジタルハリウッド大学[DHU]新入生研修“First Field 2023”を実施”
https://www.dhw.co.jp/press-release/20230512_firstfield2023/
(参照2024年8月29日)
- [2] 齋藤孝：『偏愛マップーキラいな人がいなくなる コミュニケーション・メソッド』NTT出版(2004年)
- [3] デジタルハリウッド：“<開催レポート>1年生300名がインターネットラジオコンテンツを制作「デジハリの推しラジ」”
https://www.dhw.co.jp/press-release/20240508_firstfield2024/
(参照2024年8月20日)